

# アンケート結果

## 令和5年度第3回保健事業担当者研修会

日時：令和5年10月4日（水）13時30分～15時30分

講師：大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 平井啓 氏

演題：「生活習慣病改善のための医療行動経済学」

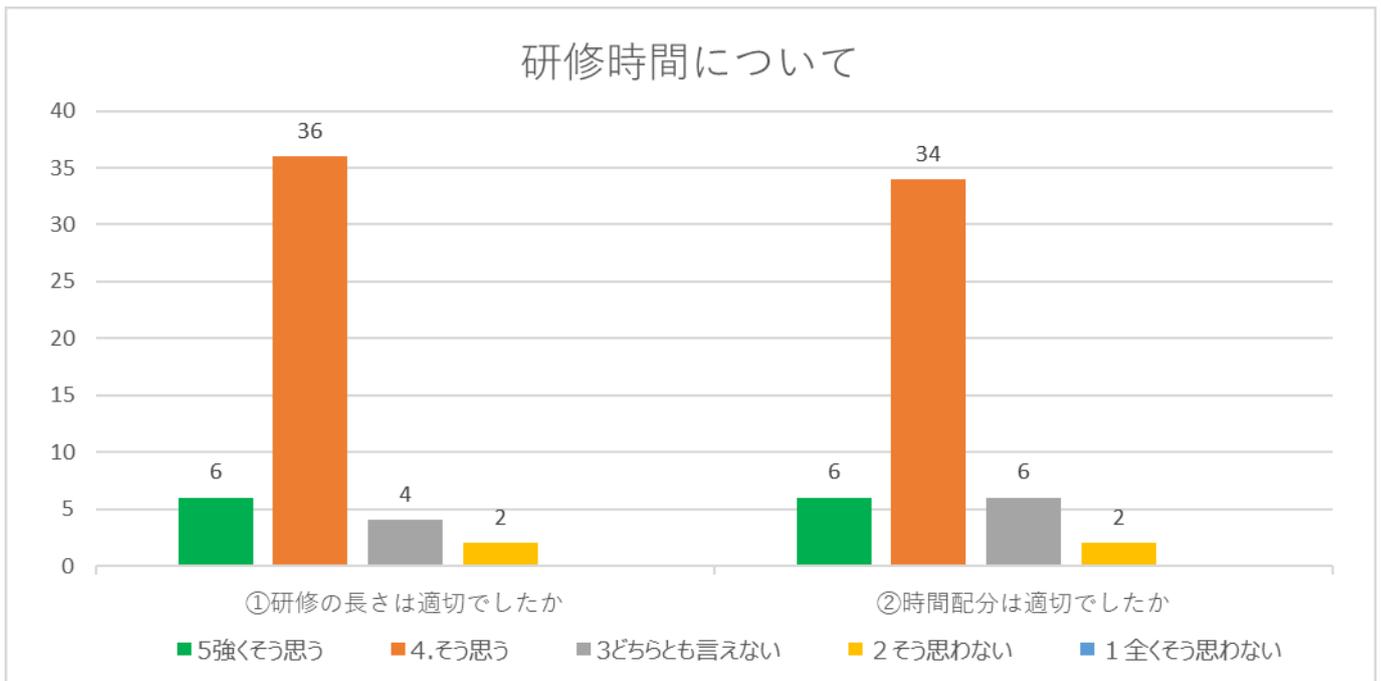
- 申込数 78名
- 参加人数 77名（WEB70名、会場7名）
- アンケート回収数 48（回収率62%）
- アンケート有効回答数 48

### 1. 職種を教えてください

保健師：34名      栄養士：7名      行政職：2名      その他：5名

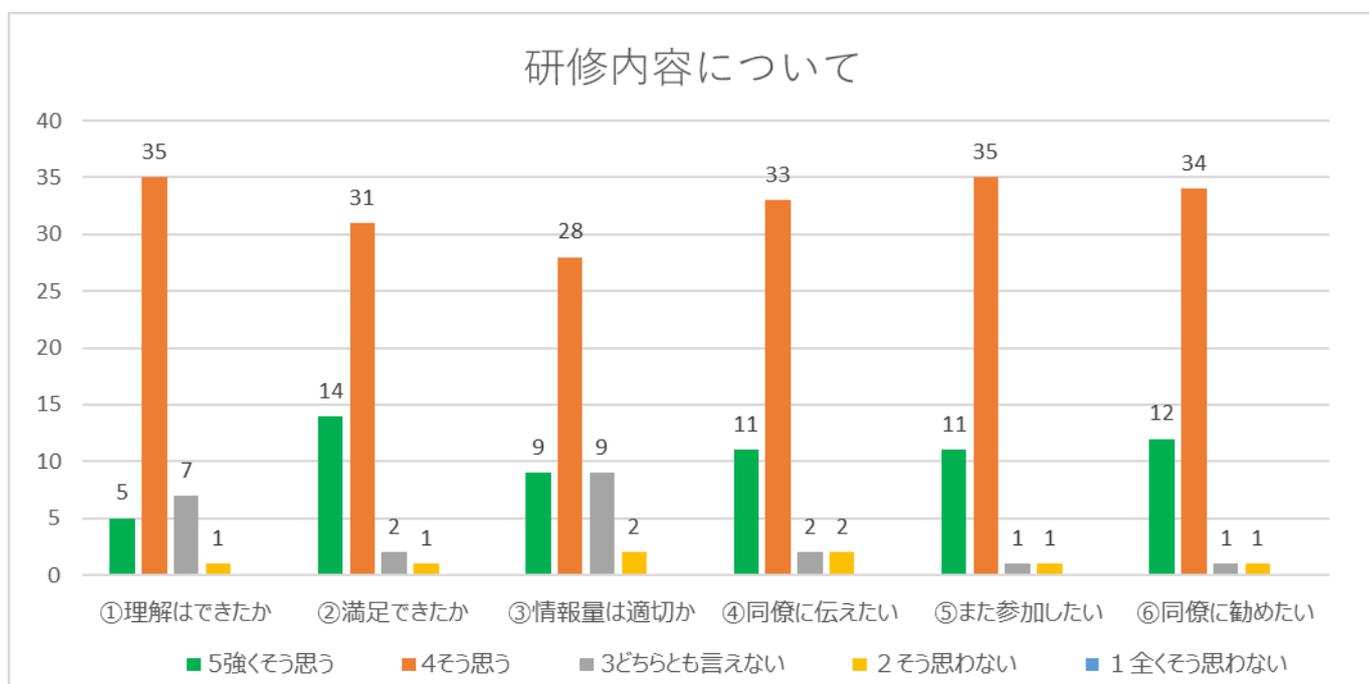
### 2. 研修時間について

	強く思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全く思わない
① 研修時間の長さは適切でしたか？	6	36	4	2	0
② 時間配分は適切でしたか？	6	34	6	2	0



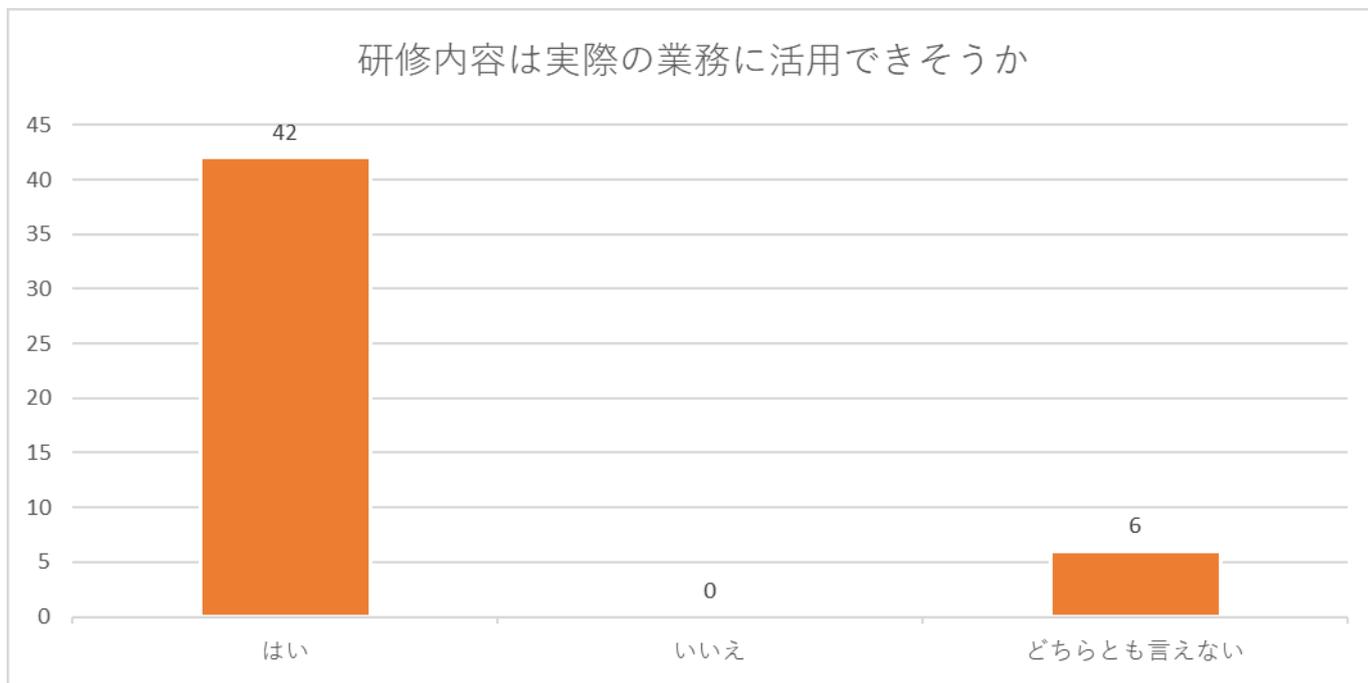
### 3. 研修の内容について

	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない
① 研修内容について理解できましたか？	5	35	7	1	0
② 研修内容について満足いただけましたか？	14	31	2	1	0
③ 研修内容の情報量は適切でしたか？	9	28	9	2	0
④ 学んだことを同僚に伝えたいと思いますか？	11	33	2	2	0
⑤ 今回のような研修会にまた参加したいと思いますか？	11	35	1	1	0
⑥ 今回のような研修の参加を同僚に勧めたいと思いますか？	12	34	1	1	0



4. 本日の研修内容は、実際の業務に活用できそうですか。

はい	いいえ	どちらとも言えない
42	0	6



付問 4で「はい」と答えた方にお聞きします。業務に活用できそうなのはどのようなことですか。  
 (回答 35 件) ※一部抜粋

- 行動変容に至ってもらうことを目的とするのではなく、本人が大事にしていることを継続するために、何をすることがよいかという考え。これを大事に、色々な学んだことを活かす必要があると感じた。保健指導や健康教育で実践していきたい。
- 講師が痩せようと思った理由を聞いたときに、脅しのメッセージを切り札にするよりも当事者の大事に考えていることを聞いて、脇道から指導していくこともありだな…と自分の趣味等を振り返りつつ一つの切り口として活用できそうと思った。
- 実際に保健指導を行う機会はほとんどないのですが、「一般的なゴールを重視するのではなく、相手にとっての最適なゴールと一緒に考えてサポートする」という手法は、市町村や事業所等の支援に生かすことができると感じました。
- 患者さんと医療者では経験の差から今後起こりうることのイメージが異なる。患者さんのバイアスを伴った考えに対する説明の方法の選択次第で重要性に気づいていただける認知の変更につながれそうな気がします。
- その人の価値観や生活の状況を把握することの大切さを改めて認識しました。また、相手に寄り添うとよく言いますが、実際寄り添うこととはどういうことなのかわからずに、簡単に使っているように思いました。
- 日頃、相手にわかりやすく伝えよう伝えようと思うあまり、情報過多になっていたと思います。相手との認知の違いは、日常生活の中でも起こりえることなので、意識するようになりたいと思いました。
- Pros/Cons 分析を行うと、損失フレームを使いがちであることが分かった。医療者側が視野を広げて、現在の利得と損失に目を向けさせる必要があることが分かった。

対象者がどのような価値観をもっているかを理解して、それに合った提案の選択肢を選ぶことが難しいと感じた。しかし、相手にあったものがあれば効果的と感じた。
対象者にとっての価値観を聞かせてもらい、そこを起点にすてその方の状態を（現在）捉えアプローチを考えていくことを丁寧に行っていきたいと思います。
対象者の心理を考えたアプローチ方法や面接場面での対応に、多方面からの視点と押しだけでなく引くことも重要な要素と再認識できました。
人の決定にはバイアスが関わっていることから、訪問時にどのような話し方伝え方をするか参考にしたい。
対象者に健康へのリスクだけを伝えるのではなく、対象者のやりたいこと、人生観を聞くようにしたい。
健康課題に関して対象者がより前向きに取り組んでもらえるようなアプローチの仕方ができそうだから。
ナッジの考え方について、受診勧奨の際や指導の際などに活用していきたいなと感じた。

付問 4で「いいえ」と答えた方にお聞きします。活用できないと感じた理由はどのようなことですか。（回答2件）

まだなにが理解でき、なにができなかったかぼんやりしています。
対象者のバイアスに気が付く方法

5. 本日の研修の中で理解できなかったところがあれば記入をお願いします。

（回答8件）※一部抜粋

資料の字や図が重なって見えないところが多いが、PDFのため見逃して（聞き逃して）しまうと分からなくなってしまう。先生の都合もあると思うが、少し改善していただけないなと感じた。
内容は面白かったですが、質疑応答がよく聞こえず、もったいなかったです。
短時間だったこと、聞きなれない用語が多かったこと、展開が早かったこと…で理解度は完璧ではなかった。
色々な人がいる中で、どのような人にどのアプローチの仕方をするのがベストなのかというところ。
理論は納得できたが、保健指導に生かすことができるまでの理解はできていない。
内容が多く、中身も濃かったのについていけない部分もあった。

6. 研修会で学びたい内容はありますか

（回答8件）※一部抜粋

薬が出回らなくなった現状での禁煙への支援
進化的行動心理学について
講義だけでなく、医療行動経済学に基づく演習もやってみたいと思いました。

7. 今後の研修会に向けてのご意見をお聞かせください。

（回答7件）※一部抜粋

今回の研修をもとに、事例検討ができればよいと思いました。（特に毎年、特定保健指導の対象となる方の対応について）特定保健指導を受けてもらうために、効果的な案内通知をどのように出したらいいのかなどの周知方法なども勉強できればいいと思います。
大変勉強になりました。参加できない場合もあるので、後日アーカイブ配信があるとありがたいです。（次回の野口先生の研修、都合により出られず、可能であれば…）
2時間という時間でとても内容が充実していて、わかりやすかった。平井先生の講演をもっと聞いてみたいと思った。